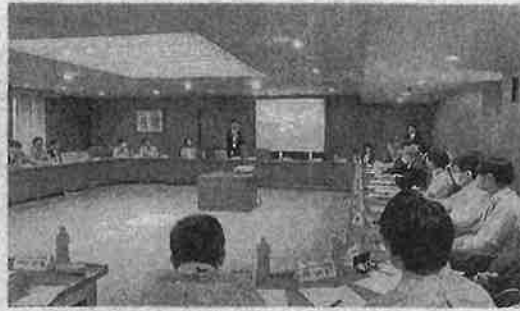


# 荒木CEOが講演

## 求める人物像テーマ



福山商議所の担当者らが参加

【広島】SRホールディングス（広島県福山市）の荒木栄作CEO（最高経営責任者）は8日、広島県産業教育振興会福山支部（小丸成洋支部長）の産学懇談会で、企業の求める人物像をテーマに講演した。産業界と教育界が連携して地域における人材の確保と育成を図るための集まりで、福山商工会議所（小丸会頭）の担当者や地場有力企業の管理職、県の教育関係者、地元の高教員など40人が

参加した。

荒木氏は初めに、M&A（合併・買収）を含めグループ12社で構成する八つの事業と、中核となる昭和陸運（同社長、同市）による物流事業について説明。経営戦略や企業ブランディングのほか、価値観や道徳観に基づく人間力に焦点を当てながら、魅力的な人材に関する持論を紹介した。

また、地方の中小企業における採用の傾向について、都市部の大企業と比較しながら「限られた経営資源の中で少ない労働力を維持するため、『コツコツやる人材』と辞めない人材を好む」と指摘。一方で、「これからは、新たな価値を生む斬新な着想や、創造力と突破力を兼ね備えた『ゼロイチ人材』がより必要になる」と強調した。

締めくくりに、「社会に出てから常識を破ることは困難なので、未来を担う子供たちが挑戦する勇気を育むために、小さな失敗と小さな成功体験を積み重ねることができる環境を大切にしたい」と呼び掛けた。

（矢野孝明）